

東北地域保全研鑽会（2025年度第2回）

<https://info-jipm.jp/f/tohoku/>

のごあんない



- 設備保全は、
“壊れた部品を交換するだけ”ではありません！
設備をいつでもロスなく稼働させることが本来の役割。
- でも、自社だけでは行き詰ってしまうことも。。。
困りごとの解決や、他社の取組み事例を知りたい方は、
ぜひ、本研究会と一緒に解決してみませんか！！

現場活動の紹介（2025年度第1回 会場：日産自動車 いわき工場）

2025年度 第2回 開催概要

日 時	2025年12月5日（金） 13時00分～ ※ 受付開始は、12時45分より開始します ※ 終了時間は、17時00分ごろを予定しています
場 所	アイシン高丘東北 株式会社 所在地：宮城県黒川郡大衡村大瓜字青木83-2 < https://www.at-tohoku.co.jp/company/about.html > ※ 集合場所は、現地集合です。駐車スペースをご用意します ※ 参加者には、詳細を別途ご案内します
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ アイシン高丘東北における“設備管理”の実例見学 ～鋳造から加工までの一貫生産、自主保全活動の取組み紹介～ ・ 見学後の質疑応答、ディスカッション（自主保全活動 ほか） ※ 内容は現時点での予定であり、変更の場合がございます ※ 現場視察の際は、以下の 保護具の着用 が必要です。ご持参ください <ul style="list-style-type: none"> ・ ヘルメット ・ 保護メガネ（眼鏡着用の方は不要） ・ 長袖 ・ 手袋 ・ 安全靴
申 込 方 法	メールにて、お申し込みを受付けます。 （ FUKYU@jipm.or.jp まで） ※ 参加定員20名様（1事業場につき2名様程度まで）の先着順 でのお申込みとなります ※ お申込み多数の場合は人数のご調整のお願いや、同業種の方のご参加の場合はお断りすることがございます。あらかじめご了承ください ※ メール送付の際は、下記内容をご入力ください <ul style="list-style-type: none"> ・ 件 名：東北地域保全研鑽会の申込み ・ 本 文：1. 貴社窓口ご担当者様情報 （貴社名、所属、役職、お名前、お電話番号） 2. 参加予定人数 （参加者様の情報は、指定様式へのご入力（別途ご案内））
年 会 費	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 会員価格：無料 ・ 一般価格（上記以外）：¥33,000-/名



アイシン高丘東北 株式会社



定員になり次第、
お申込み終了です
お申込みはお早めに！

東北地域保全研鑽会ってなに？（活動報告）

研究会活動の紹介（2025年度第1回活動レポート）

テ ー マ	2025年度第1回 東北地域保全研鑽会 日産自動車における“設備管理”の事例見学 ～新ライン・旧ラインにおけるTPM活動～
開 催 日	2025年9月19日（金）
開 催 場 所	日産自動車株式会社 いわき工場 （福島県いわき市泉町下川字大剣386番地）
プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ● 日産自動車株式会社いわき工場における“設備管理”の事例見学 ・いわき工場の取組み紹介 ・工場見学 ● 見学後の質疑応答、ディスカッション
参 加 者	東北地域保全研鑽会 会員：28名（11社）



開催報告

- 2025年9月19日（金）、福島県いわき市にて、東北地域保全研鑽会（2025年度第1回）を開催しました。会場は日産自動車株式会社いわき工場。同社の製造現場を舞台に、TPM活動をはじめとした、保全活動や人財育成に関する先進的な取り組みが紹介され、参加企業間の学びと交流が深まりました。
- 当日は、日産自動車いわき工場の工場見学が行われました。特に注目を集めたのは、「活動板」「スマートTPMライン」「マシニング道場」「TPM道場」など、工場全体で取り組んでいるTPM活動です。効率的な生産活動を維持・管理するための情報を共有する仕組みや、そのサポート体制について、参加者は強い関心を寄せていました。
- いわき工場では、TPM活動に取り組むうえで以下4つのポイントを大切にしているそうです。
 - ・全員で清掃し汚れを外に出さない。
360度どこから見てもクリーン/静か
 - ・工場全体が、TPM対象（製造だけではなく、保全も工具も物流も）
 - ・課題の見える化をして工場総力で解決
 - ・改善活動や資格取得を通じて、個人が学び成長する

工場内を見学すると、たしかに床や壁が汚れていたり濡れていることもなく、5Sが徹底された清潔な状態を保たれていました。

資格に関しては、主に「自主保全士」の取得を推進していることが紹介されました。問題集の貸し出しや勉強会の実施など受験者向けのサポートがあり、2019年以降は取得者が大幅に増加。常に勉強を心掛けられる環境が整えられていました。
- 人財育成に関してはスキルセンターやマシニング道場など、失敗を活かして学ぶ場が整えられていました。さらに、製造部門から保全部門への留学制度もあるとのこと。計画的に留学をして保全の知識をつけ、自主保全を進めていました。
- 工場見学終了後の質疑応答では参加者からの質問が絶え間なくあがりました。特に「設備保全のあるべき姿を絵で提示していたが、現場の管理監督者が主体になって作られたものだったように思う。どうして絵で提示していたのか」という質問に対しては「それぞれの職場で必要な人財像について分かりやすいものがなかったので、現場で作成してもらいました。工場長を含めた上席者にも共有して、先を見ながら人を育てています」と回答がありました。
- アンケート結果では、満足度に関して「大変満足」「ちょうど良い」との回答が多数を占め「分かりやすい説明があつて良かった」や「他工場の取り組みを現物を見ながら聞いた」や「普段あまり他社と交流できないので交流できたのが嬉しかった」など好意的な意見が目立ちました。
- 今回の研鑽会は、TPM活動を推進している工場の見学によって、実践的な学びを得る場として好評をいただきました。今後も、東北地域の連携を深めながら、保全の研鑽と人財育成を支援する場として継続的に開催していく予定です。

（記：JIPM 石橋）

「設備保全」の業務は、「設備をいつでもロスなく稼働させる」ことが本来の役割。
その実現には、故障をはじめとしたロスの原因を見つけて、未然に対策を行なうことが重要です。
しかしながら、自社で得た知見だけでは、なかなか対策が難しい場合も。。

「東北地域保全研鑽会」では、2016年より、人財育成や人財確保、設備診断技術などをテーマにして、ディスカッションや、工場の見学を実施しながら「オール東北」での交流の場となることを目指しております。

日頃の困りごとの解決や、他社の取組み事例を知りたい方は、
この機会にぜひご参加いただき、参考となる情報を自社で活かしてみませんか？
（当会会員企業の方は参加無料です。お気軽にご参加ください）



研究会概要

活動内容

- 設備管理・保全に関する情報交換ならびに相互研鑽
- 設備管理、保全、モノづくり全般について先進企業の取組み紹介
- メンバー企業の工場見学 など 3回/年を開催予定（2025年度）

参加対象

- 設備保全、設備管理全般の管理者およびご担当の方、人財教育の企画、実施のご担当の方